

お詫びと訂正

弊社刊行の『最新 介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解』の本文中、以下の箇所に誤りがございました。お詫びして、訂正させていただきます。(2021 年 4 月 1 日更新)

該当頁	該当箇所	誤	正	備考
4 頁	表 1-1 中左欄	成人期（青年期以後）	成人期（青年期以降）	2020/1/27 更新
26 頁	表 2-2 中「 <u>幼児前期</u> 」の「 <u>心理社会的危機</u> 」欄	「 <u>自律性</u> 」	「 <u>自律性</u> 」	
37 頁	表 2-6 の右欄の下から 3 行目	<u>うつぶせ</u> で頭部を回転させると、	<u>仰臥位</u> で頭部を回転させると、	2021/4/1 更新
71 頁	上から 12 行目	<u>60</u> 歳	<u>65</u> 歳	2020/1/27 更新
	上から 15 ～17 行目	世界全体の平均は 70.8 歳ですから、 <u>世界全体で統計を取る場合には、60 歳を高年齢者とみること</u> も <u>妥当なことだといえるでしょう。</u>	世界全体の平均は 70.8 歳です。	2021/4/1 更新
114 頁	下から 9 行目	コラーゲン線維が <u>増え</u>	コラーゲン線維が <u>硬くな</u> <u>り</u>	2020/1/27 更新
170 頁	上から 4 行目	<u>同居家族介護者のうち 25.2%</u>	「 <u>同居</u> 」の <u>主な介護者の要介護者等との続柄をみると 25.2%</u>	2021/4/1 更新
183 頁	上から 1 行目	社会情動的選択理論	社会情動的選択 <u>性</u> 理論	
	上から 11 行目	社会情動的選択理論	社会情動的選択 <u>性</u> 理論	
	上から 13 行目	社会情動的選択理論	社会情動的選択 <u>性</u> 理論	

220 頁	上から 6 行 目	<u>要介護状態</u> になる原因 の第 1 位です。	<u>寝たきり</u> になる原因の第 1 位です。
238 頁	上から 5 行 目	院内 <u>感染</u> と市中肺炎	院内 <u>肺炎</u> と市中肺炎
280 頁	下から 4 行 目	<u>高齢期における統合失 調 症</u> では、 <u>幻覚や妄想 などの陽性症状</u> は	<u>(思春期・青年期発症 の) 統合失調 症</u> は <u>高齢 になると、若いときの激 しかった陽性症状</u> は
281 頁	上から 10 ～11 行目	<u>統合失調 症</u> の症状は、 <u>加齢にともなって変化 し、陽性症状よりも陰性 症状が強くあらわれ、認 知症を合併すること もあるといわれています。</u>	<u>統合失調 症</u> の症状は、 <u>加齢にともなって変化し ます。</u>